

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
 - ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR 16.7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
 - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR 5.2～TR 5.6により、800m未満の種目とフィールド種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- 2 練 習
- ①ウォームアップは、陸上競技場の下記の時間・場所で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。また、使用した器具は各自で消毒し、元の場所に返却すること。
 - 【3日】
 - 陸上競技場 8:00 ～ 9:00 → 全面
 - 3000mSC 競技中 → バックストレートの指定されたエリア
 - 【4日】
 - 陸上競技場 8:00 ～ 9:00 → 全面
 - 1500m 競技中 → 3コーナーの指定されたエリア
 - ②陸上競技場内の雨天走路での練習は禁止とする。但し、三段跳の選手の競技中の使用は認める。
 - ③投てき種目の練習は、招集完了後に行う。役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。
 - ④大会参加者以外は、競技場での練習は禁止とする。
 - ⑤開門時刻（練習開始時刻）は、陸上競技場が8時とする。
- 3 招 集
- ①招集所は陸上競技場の正面玄関前に設ける。
 - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

| 種 目 | 招集開始 | 招集完了 |
|--------|--------|--------|
| トラック種目 | 30分前 | 20分前 |
| 三段跳 | 60分前 | 50分前 |
| 棒高跳 | 現地90分前 | 現地70分前 |
| 投てき種目 | 60分前 | 50分前 |

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、競技者自らがアスリート

ビブス、競技用シューズ、衣類、持ち物の点検を受ける。

- ⑤ 招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場し、現地で点呼を受ける。
- ⑥ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
- ⑦ 出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出する。

4 入退場

- ① 陸上競技場には選手および競技役員以外の入場は認めない。
- ② 陸上競技場の観客席にはメインスタンド2階中央の指定された場所から、入退場する。また、メインスタンドの場所取りは禁止とするが、芝生スタンドにテントなどを設置することは許可する。
- ③ コーチングエリアを4ヶ所、設置する。コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場する。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ④ 入場は原則第3ゲート（200mスタート地点）とする。但し次の種目に参加する選手は第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用する。
 - * 400m・400mH・3000mSC・Aゾーン使用フィールド種目
 - * 練習する場合も入退場口は原則として第3ゲートとする。
- ⑤ 退場については、トラック競技出場選手はレース終了後、荷物を取りに行き、極力ユニフォーム姿で入場したゲートより速やかに退場する。フィールド競技出場選手は競技終了後、入場したゲートより速やかに退場する。
- ⑥ 荷物を取りに行く時はメインスタンド前が通行禁止であるので、バックストレートを通り、スタート地点に戻り退場する。
- ⑦ フィールド競技においては競技役員の指示に従い入場した通用門から退場する。
- ⑧ 更衣室および雨天走路内トイレの使用は女子のみとする。その際、更衣室は更衣のみに使用し、アスリートビブス付きユニフォームを提示し正面玄関より入場する。但し、競技中の選手については雨天走路内の男子トイレの使用は認める。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのばして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

5 走高跳、棒高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

| | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|-------|------|------|------|------|---------|---------|
| 男子棒高跳 | 3.30 | 3.50 | 3.70 | 3.90 | 4.10 | 以降 10cm |
| 女子棒高跳 | 2.10 | 2.30 | 2.50 | 2.70 | 以降 10cm | |

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

6 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

7 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。

8 抗議 日本陸上競技連盟、競技規則 TR 8 による。

9 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

- ① 上半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
- ② 下半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。
- ③ バッグ・タオル（ブランケット含む）
製造会社／ロゴ：1個・最大40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内
- ④ ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）
製造会社／ロゴ：1個・最大6 cm²まで文字高さ 3 cm 以内

10 開門・場所取りについて

① 陸上競技場

スタンド裏コンコースとトイレを開放する。スタンド、芝生スタンド、雨天練習場、男子更衣室は利用できない。（女子更衣室は女子の更衣のみ）開門時刻は8時とし、各チームの代表者2名が入場する。代表者2名は7時50分までに野球場側のスタンドへの入場スロープのチェーンの外にソーシャルディスタンスを確保して並ぶ。

② 第2陸上競技場

工事の為に使用できない。

③ その他のテント設置可能箇所

芝生スタンド、16号側緑地帯、モノレール下とする。体育館の軒下の場所取りは禁止する。

④ その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は1カ所限定とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。

11 その他

- ① 横断幕・のぼり旗の設置については、メインスタンド、芝生スタンドとも最上段のみとする。14日については設置したままでもよいが、各チームの責任で管理すること。
- ② 各チームの荷物はすべて毎日、持ち帰ること。競技場内保管は一切、認めない。
- ③ スマートフォン・携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ④ 3000m 障害物は、スパイクを着用する。
- ⑤ 競技場内での日傘の使用はできない。但し、天候に応じて傘の使用は認める。
- ⑥ 園路での集団走は厳に慎む。
- ⑦ 競技場内入場後は雨天走路内トイレを使用する。
- ⑧ プログラムのアスリートビブス、氏名等の訂正は早めに TIC へ届け出る。
- ⑨ セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ⑩ 競技者は清潔で、不快に思われないようにデザインされ仕立てられた服装を着用しなければならない。
- ⑪ 控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。
- ⑫ 更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分注意する。
- ⑬ ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
- ⑭ ゴミは原則として各自で責任を持って持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨てても良い。
- ⑮ 競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑯ アスリートビブスについて
 - (ア) 大学生・一般については今年度、千葉陸上競技協会から配付されたアスリートビブスを使用する。その他の者は、当日に配布する。
 - (イ) 高校生は 2023 年度高体連登録のものを使用する。